資料－1

平成19年度第1回新技術活用評価会議_審議案件　技術概要及び審議結果一覧

審議区分	技術名称	NETIS登録番号	技術概要（NETISより抜粋）		評価会議 審議結果概要
			技術分類	何について何をする技術なのか?	
事前審査	カルグリ	KT-010060-A	土工 軽量盛土工 軽量盛土	盛土工事において、再生品ではないコンクリート用人工軽量骨材を用いることによって、施工を簡便化する技術。	経済性について確認事項が生じたため次回以降再審議となった。
事後評価	高輝度蓄光式表示板	TH-050001-V	付属施設 道路標識設置工	距離標や各種表示板について高輝度蓄光機能を付加することにより、表示面を自発光させ夜間の視認性を向上させた。	従来技術に比べて活用の効果は同程度である。 また、活用件数が少なく評価の信頼度については留意を要する。
	フォームライトW（R-PUR工法）	QS-990001-V	土工 軽量盛土工 軽量盛土	「フォームライトW」は、現場発泡ウレタン軽量盛土(R-PUR)工法用に開発されたノンフロン材料で、2液の原液を現場発泡させることにより、軽量な盛土体を現場で形成することができる。	現場の適用範囲が十分検証されていないが、従来技術に比べて活用の効果は優れている。 また、活用の条件の違いによる評価のバラツキが小さい。
	万能土質改良機による建設発生土再利用システム	KK-980012-V	土工 土工 残土処理工	土質性状の異なる2種類あるいは3種類の建設発生土等を組合わせ、粒度改良や含水比改善を行うことにより、要求品質基準を満足する盛土材料を製造する物理的混合処理技術である。	従来技術に比べて活用の効果は同程度である。 ただし、活用の条件の違いによる評価のバラツキが小さい。

※各技術の詳細情報は、新技術情報提供システム［NETIS］で提供しています。
NETISアドレス：http://www.mlit.go.jp/netis/